

生き残りには酪農の発展が不可欠

● 農業機械やミルクローリーの規格に合った町道の整備が必要では。  
(50代酪農ヘルパー)

● ミルクローリーが円滑に運行するために、酪農家の私道も整備して、生乳輸送路なのだから。  
(70代土建業)

● 食肉加工センター(屠場)の誘致に再挑戦すべきだ。  
(30代畜産業)

● 酪農の分業化は後戻りできない。実態に合わせて、町営牧場の受け入れ頭数を増やすべき。  
(50代酪農業)

● 熊被害が発生した牧野の牛を、町営牧場で飼育できないものか。  
(70代会社員)

● 飼料作物の作付を増やすための策が必要。  
(40代酪農業)

● 中山間で進めて来た「インフラ」「圃場」「環境」整備の代替事業を望む。  
(40代酪農業)



経済の活性化は林業振興が鍵

● 町有林の間伐材や風倒木をオガ粉の材料として提供して、風化させるようまし。  
(40代畜産業)

● かつて標茶町は林業の町であった。林業を復活させよう。  
(60代輸送業)

● 町有林を計画的に伐採し、家畜の敷料の原材料にすべき。それによって植林と育苗の仕事が増える。  
(70代種苗業)

● 林業の人材確保のため、給付型奨学金や町独自の人材育成事業を。  
(30代自営業)



やすらぎ園の現状に大きな不安

● いずれ皆が通る道。やすらぎ園で老後を通りたい。早急に整備を。  
(60代会社員)

● やすらぎ園は、新築でなくいいから、早急に整備して下さい。  
(80代無職)

● 介護職員確保には、待遇改善が必要だと思う。  
(70代福祉職員)



町立病院をなくさない

● 通院の足を確保して病院を守って下さい。  
(70代無職)

● 高齢者が入院しても、一病院で3カ月しか入院できない。次の入院先を探すのが大変。  
(60代無職)

公共事業で町内の景気浮揚を

● 建設公共工事にも、弟子屈のように「地元調達」を求めてはどうか。利益の地域内循環が必要だ。  
(30代自営業)

● 公共事業について、建設事業と土木事業の事業量のバランスが悪い。  
(60代土木建設業)



日々の生活の質の向上

● 楯兵衛村を無くさないで欲しい。  
(60代無職)

● 内水氾濫が心配だ。  
(40代会社員)

● 駅前地区が寂しい。もっと活気ある駅前地区に整備してほしい。  
(30代会社員)

● 買い物をするには、車での移動が不可欠。運転が出来なくなった高齢者や体の不自由な人のための支援を考えてほしい。  
(80代無職)



● 食肉加工センターのように、酪農畜産だけではなく周辺に多くの仕事を生み出す事業の誘致を積極的に行うべきだ。  
(50代自営業)

● 子育て支援を充実してほしい。  
(20代会社員)

● 町内業者の特産品開発の支援してほしい。  
(40代自営業)